

平成29年度（秋季入学）
平成30年度（春季入学）

山形大学大学院医学系研究科 先進的医科学専攻（博士前期課程）

学 生 募 集 要 項

平成29年6月

山 形 大 学

目 次

先進的医科学専攻（博士前期課程）学生募集要項

1. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	1
2. 募集人員	1
3. 出願資格	2
4. 入学資格審査	2
5. 出願手続	3
6. 入学者の選抜方法	4
7. 受験者心得	4
8. 合格者の発表	5
9. 入学手続	5
10. 授業料	5
11. 注意事項	5
12. その他	6
長期履修学生制度について	7
先進的医科学専攻（博士前期課程）入学案内	8
先進的医科学専攻（博士前期課程）教育研究講座等一覧・協力講座一覧	9
先進的医科学専攻（博士前期課程）教育研究講座等の研究内容と指導内容	10
出願書類	
●入学願書・写真票・受験票	
●志望理由書	
●払込書【大学院医学系研究科先進的医科学専攻（博士前期課程）用】	
●確認書	
●ラベル票	
●受験許可書	
入学資格審査用書類	
●入学資格審査願	
●入学資格認定審査調書	
●業績調書	

先進的医科学専攻（博士前期課程）学生募集要項

1. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

【医学系研究科】

医学系研究科は、自ら考え解決する力を持つ人間性豊かな医療人・研究者・技術者等を養成するため、医学専攻、先進的医科学専攻及び看護学専攻を設置しています。

医学専攻及び看護学専攻は、医学又は看護学を広く修め、専門領域における高度の研究能力と豊かな学識を備えた医療人を育成するとともに、広く各方面において、将来の指導的役割を果たす人材の育成を行います。

また、先進的医科学専攻は、医学部出身者のみならず薬学、理学、工学、農学、人文社会科学、コメディカル、行政など幅広い分野からの学生を受け入れ、21世紀を先導できる創造力と応用力及び実行力に富んだ高度な研究者、高度専門医療従事者及び高度研究支援技術者を育成します。

医学系研究科の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・病気の治療や予防により、人の健康を維持、増進することについて、強い意欲のある人
- ・専門領域において高い問題意識を持ち、自身の研究能力を積極的に向上させる意欲のある人
- ・様々な分野の研究者と協力し合い、諸課題に対する有効で具体的な解決策の探求を行う意欲のある人

以上のような観点から先進的医科学専攻では、次のような学生を求めています。

【先進的医科学専攻】

先進的医科学専攻では、放射線治療を担当する放射線腫瘍医や医学物理士など、幅広く放射線生物学、放射線防護学を専門とする者を育成する「放射線未来科学」、地域に根差したゲノムコホート研究＝山形県コホート研究（Yamagata Study）を基盤とした個別化医療実現のための教育、研究をおこない、疫学・生物統計学、遺伝子医学、公衆衛生学や医療政策学などを専門とする者を育成する「分子疫学」、創薬・医療機器開発をシステムティックに推進する人材育成・研究を専門とする者を育成する「創薬・システム医科学」の3つのコースがあります。薬学、理学、工学、農学、人文社会科学、コメディカル、行政など幅広い分野の出身で、これらの学問領域を学び、修得して社会に還元する意欲のある学生を受け入れます。

先進的医科学専攻の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・脳卒中に加えてがん、心筋梗塞、生活習慣病、認知症等、社会的に大きな問題となっている疾患を対象とした研究について、診断・治療の開発に関わるシーズ探索から実地臨床応用までの一連のプロセスを理解し、医学・医療の問題について具体的な解決策の探求に意欲のある人
- ・各種疾患領域や医療の諸課題のため、医学のみならず行政・薬学・理学・工学・農学等の視点から有効で具体的な解決策を探求し、新たな産業技術の創出及びその海外における展開に貢献する意欲のある人
- ・健康で豊かな社会の実現を目指してトランスレーショナルリサーチの修得に意欲のある人
- ・遺伝学と統計学の専門知識を併せ持つ生物統計学の修得に意欲のある人
- ・低侵襲の次世代がん治療である重粒子線治療をはじめとした、粒子線治療のさらなる進歩・発展に寄与する意欲のある人

2. 募集人員

募集人員	
平成 29 年度 (秋季入学)	平成 30 年度 (春季入学)
若干人	15 人

※「平成 29 年度（秋季入学）」は平成 29 年 10 月入学、「平成 30 年度（春季入学）」は平成 30 年 4 月入

学となる。

3. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者、又は次の各号に平成 29 年度（秋季入学）においては平成 29 年 9 月までに、平成 30 年度（春季入学）においては平成 30 年 3 月までに該当する見込みの者

- (1) 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 83 条第 1 項に定める大学（以下「大学」という。）を卒業した者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価をうけたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- (9) 大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- (10) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- (11) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- (12) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22 歳に達したもの

4. 入学資格審査

「3. 出願資格（9）～（12）」により出願しようとする者については、事前に書類による個別の入学資格審査を行うので、次の（1）に掲げる書類を提出すること。

- (1) 入学資格審査提出書類
 - ① 「入学資格審査願」（本要項に添付の所定の用紙）
 - ② 「入学資格認定審査調書」（本要項に添付の所定の用紙）
 - ③ 「業績調書」（本要項に添付の所定の用紙）
 - ④ 「最終学校成績証明書」（最終出身学校長が作成し、厳封したもの。）
 - ⑤ 「最終学校卒業証明書」
 - ⑥ 「審査結果通知用返信封筒」（長形 3 号封筒に郵便番号・住所・氏名を記載し 82 円分の切手をはったもの。）

なお、入学資格審査出願者は、出願書類等の提出に先立ち、志望講座等（9 頁参照）を選定の上、あらかじめ指導教員と面談すること。

- (2) 入学資格審査書類提出期間
 平成 29 年 6 月 22 日 (木) から 6 月 27 日 (火) まで (土・日曜日を除く)
 受付時間は、9 時から 16 時 30 分までとする。
 なお、郵送の場合は書留速達扱いとし、封筒に「先進的医科学専攻 (博士前期課程) 入学資格審査書類在中」と朱書きすること。
 郵送の場合も提出期間内必着とする。
- (3) 入学資格審査書類の提出先
 〒 990-9585 山形市飯田西 2 丁目 2-2
 山形大学医学部入試担当 電話 (023) 628-5049
- (4) 入学資格審査結果の通知期日
 平成 29 年 7 月 19 日 (水)

5. 出願手続

- (1) 出願受付期間
 平成 29 年 7 月 24 日 (月) から 7 月 27 日 (木) まで
 郵送の場合も、7 月 27 日 (木) 必着とする。
 受付時間は、9 時から 16 時 30 分までとする。
 なお、郵送の場合は書留速達扱いとし、封筒に「先進的医科学専攻 (博士前期課程) 出願書類在中」と朱書きすること。
- (2) 出願書類等及び検定料
 次に掲げる書類を出願期間内に提出すること。

出願書類		出願書類作成上の注意
①	入学願書 写真票 受験票	本要項に添付の所定の用紙を使用すること。 ※「4. 入学資格審査」で出願する者は、『入学資格審査結果通知書』の写しを添付すること。
②	成績証明書 注)	最終出身学校長が作成し、厳封したもの。
③	卒業(見込)証明書 注)	最終出身学校長が作成したもの。
④	学士の学位授与証明書 ※「3. 出願資格」(2)で出願する者のみ	大学改革支援・学位授与機構 (旧：大学評価・学位授与機構) の発行した学位授与証明書を添付すること。 なお、取得見込みの者は、「大学改革支援・学位授与機構に学位授与の申請 (予定) をしている。」旨明記した証明書 (様式随意) で、出身学校長が作成したものを提出すること。
⑤	志望理由書	本要項に添付の所定の用紙を使用すること。
⑥	研究計画書	先進的医科学研究の課題、動機、目的、方法について、A4判用紙1枚 (様式随意) にまとめること。
⑦	山形大学入学試験 検定料納付証明書	1. 検定料 30,000 円 2. 払込期間 平成 29 年 7 月 18 日 (火) から 7 月 27 日 (木) まで 3. 払込方法 (1) 本要項に添付の「払込書【大学院医学系研究科先進的医科学専攻 (博士前期課程) 用】」を用いて、ゆうちょ銀行又は郵便局で払い込むこと。 なお、ATM (現金自動預払機) は使用できません。必ず窓口で払い込むこと。 (2) 各票の※印欄に、志願者 (本人) の郵便番号・住所・氏名・電話番号をボールペンで正確に記入すること。 (3) 「振替払込請求書兼受領証」及び「山形大学入学試験検定料納付証明書」をゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で受け取る際には、必ず受付銀行又は局の「日附印」があることを確認すること。 (4) ゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で受け取った「山形大学入学試験検定料納付証明書」を提出すること。 (5) 既に払い込んだ検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。

出願書類		出願書類作成上の注意
⑦	山形大学入学試験 検定料納付証明書	<p>なお、申出期限は平成30年3月30日（金）までとする。</p> <p>①検定料を払い込んだが出願しなかった場合（出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合を含む。）</p> <p>②誤って検定料を二重に払い込んだ場合</p> <p>③出願後に国費外国人留学生奨学金の延長が決定し、本学に入学する場合</p> <p>※返還請求についての問い合わせ先：医学部入試担当</p> <p>4. 本学出願後に入学後の国費外国人留学生奨学金の受給が決定されている者については、検定料は不要なので、必ず申し出ること。</p>
⑧	確認書	本要項に添付の所定の用紙を使用すること。（外国人留学生のみ）
⑨	返信用封筒	受験票の送付に使用するので、定形封筒（長形3号）に志願者の氏名及び送付先を記入し、82円分の切手をはること。なお、速達を希望する者は、362円分の切手をはること。
⑩	ラベル票	本要項に添付の所定の用紙に志願者本人の郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入し提出すること。
⑪	受験許可書	出願時に在職中の者は、本要項に添付の所定の用紙を使用し提出すること。

注) 入学資格審査認定により出願しようとする者は、上記②③を提出する必要はない。

(3) 出願書類等の提出先

〒990-9585 山形市飯田西2丁目2-2

山形大学医学部入試担当 電話 (023)628-5049

なお、出願者は、出願書類等の提出に先立ち、志望講座等（9頁参照）を選定の上、あらかじめ指導教員と面談すること。

6. 入学者の選抜方法

入学者の選抜は、学力検査等、成績証明書、志望理由書及び研究計画書を総合して行う。

(1) 学力検査等

英語、小論文及び志望等についての口頭試問

(2) 学力検査等日時・科目

期 日	時 間	科 目	備 考
平成29年 8月29日（火）	9:00～10:30	英語	英和・和英辞典の持ち込み可（電子辞書を除く。）
	11:00～12:30	小論文	和文又は英文の小論文
	14:00～15:30	口頭試問	志望等について（1人当たり10分程度）

(3) 試験場

山形大学医学部（山形市飯田西2丁目2-2）

7. 受験者心得

(1) 受験票について

- ・試験当日は、受験票を持参し、試験場に入場する際に提示すること。
- ・試験場では、常に受験票を携行し、受験中は係員の指示に従うこと。また、試験室では受験票に記載されている受験番号と同じ番号がはられている席に着くこと。
- ・試験当日、受験票を忘れた場合は、入場の際、係員に必ず申し出て、仮受験票発行の手続きをとること。
- ・受験票を紛失した場合は、速やかに医学部入試担当に申し出ること。

(2) 受験者は試験開始時刻30分前までに試験場に到着すること。

(3) 試験開始時刻に遅れた場合は、係員に申し出て指示を受けること。

(4) 試験開始後20分を経過した後は、試験室への入室は認めない。

(5) 筆記試験等における留意点について

- ・受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、鉛筆（シャープペンシルも可）、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・キッチンタイマー・秒針音のするもの・大型のものを除く。）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの）、目薬とする。なお、英語の試験の際は、英和・和英辞典（電子辞書を除く）の持ち込みを可とする。
 - ・試験室では、他人のものを借用したり、共用してはいけない。
 - ・不正行為があると認められた者の答案は、すべて無効とする。
- (6) 携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておくこと。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとな不正行為となることがある。
- (7) 英文字がプリントされている服等は着用しないこと。着用している場合には、脱いでもらうことがある。
- (8) 試験が午後にわたるため、昼食を持参することが望ましい。

8. 合格者の発表

平成 29 年 9 月 7 日（木）11：00（予定）

医学部掲示板に受験番号を掲示するとともに、合格者に通知する。

なお、電話等による合否結果の問い合わせには一切応じない。

9. 入学手続

(1) 入学手続期間

平成 29 年度（秋季入学）：平成 29 年 9 月 12 日（火）から 9 月 15 日（金）まで

平成 30 年度（春季入学）：平成 30 年 1 月 9 日（火）から 1 月 11 日（木）まで

(2) 納付金

入学料 282,000 円

(3) 提出書類

①入学誓書

②写真（3 か月以内撮影、上半身、無帽、正面、カラー、縦 4.0cm × 横 3.0cm）

③その他

※入学手続の詳細については、合格通知の際に本人宛てに通知する。

10. 授業料

(1) 納付金

授業料 535,800 円（年額）（予定額）

(2) 納付方法等

入学後に納付する。

「年 1 回払い」、「年 2 回払い」、「年 10 回払い」、「年 10 回ボーナス併用払い」から選択できる。

(注) ①上記の金額は、未確定のため予定額である。

②在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用される。

③納付方法等詳細については、合格通知の際に通知する。

11. 注意事項

(1) 出願手続後の提出書類の内容変更は認めない。

(2) 提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学決定後であっても、入学許可を取り消すことがある。

(3) 本学は、入学試験に関する個人情報は次の目的のために利用し、当該情報を第三者に開示、提供及び預託することはない。

- ①入学者選抜試験実施のため
- ②入学手続業務のため
- ③入試統計調査のため
- ④就学上必要な本学での業務のため
- ⑤その他大学として必要な業務のため

12. その他

本学生募集要項の請求，その他問い合わせ等は，山形大学医学部入試担当あてとし，郵送の場合は返信用封筒（角形2号に郵便番号・住所・氏名を明記し，250円分の切手をはったもの。）を同封すること。

長期履修学生制度について

この制度は、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限（2年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することができる制度である。
希望する場合は、事前に下記担当まで連絡すること。

1. 対象者

職業を有する者又はその他やむを得ない事情のある者を対象とする。

2. 長期履修期間

標準修業年限（2年）を、2年を限度として延長することができる。

ただし、長期履修学生が、修業年限の2倍（4年）を超えても、なお修了出来ない場合は、除籍の対象となる。

3. 申請方法等についての問い合わせ先及び申請書提出先

〒990-9585 山形市飯田西2丁目2-2

山形大学医学部大学院担当 電話 (023)628-5052

なお、長期履修に関する申請書は、入学時（手続時）に受け付ける。

ただし、必要な場合は、修了予定学年の開始前まで申請することができる。

4. 授業料

(1) 長期履修における授業料年額は次のとおりとなる。

授業料年額 × 標準修業年限（2年） ÷ 許可された修業年限

(例) 修業年限が4年で許可された者の授業料（平成29年度）の年額

535,800円 × 2年 ÷ 4年 = 267,900円（年額）

(2) 授業料の決定は、長期履修結果通知時に行う。

(3) 在学中に授業料の改定が行われた場合は、新授業料が適用される。その際は、改めて通知する。

先進的医科学専攻（博士前期課程）入学案内

1. 目的

本専攻は、高邁な生命倫理と社会性にに基づき、医科学の発展に貢献できる判断力と実行力を身につけた、独創性に富む人間性豊かな人材を育成することを目標とする。そのために、医学部出身者のみならず、理学、工学、薬学、農学、人文社会科学、コメディカル、行政など幅広い分野から学生を受け入れ、問題解決型の能動的教育を実践する。具体的には、重粒子線医学、分子疫学、創薬科学等を始めとする最先端研究を総合的、体系的、戦略的に行うことで、来るべき高齢化社会の未来を切り開くために必要な医科学研究・技術開発に先進的に取り組む人材を育成する。

2. 修業年限

博士前期課程（修士課程）：2年

3. 所属講座及び研究指導教員

学生の研究指導及び履修指導を行うため、学生ごとに所属講座及び研究指導教員を定める。

4. 大学院設置基準第14条による教育方法の特例による教育の実施

近年、大学院における社会人の再教育への要望が高まっている。このことは、医学・医療の分野において一層顕著であるが、通常教育体制では、勤務のかたわらの就学には困難が伴う。

このため、本研究科では、大学院設置基準第14条に規定する教育方法の特例による教育を次により実施するものである。

カリキュラムは、一般学生を対象とする平日の他に、社会人学生を対象として、夜間、土、日及び当該社会人の多くが休暇等をまとめて取り易い、夏季休暇期間等に設定し、単位を修得しやすいように配慮する。

なお、授業科目の履修は、研究指導教員と十分に話し合いその指示を受けること。

（参考）「大学院設置基準第14条」

大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

5. 学位授与

課程修了の要件を満たした者に、次の学位を授与する。

博士前期課程（修士課程）：修士（医科学）

6. 奨学金制度

独立行政法人日本学生支援機構の奨学金制度がある。

先進的医科学専攻（博士前期課程）教育研究講座等一覧

コース名	講座名
放射線未来科学コース	重粒子線医学
分子疫学コース	生化学・分子生物学
	遺伝情報解析学
	公衆衛生学○
	医療政策学
創薬・システム医科学コース	創薬科学
	生命情報工学

○印の講座は、教授が不在のため、当該講座の担当教員からの研究指導等も受けることを希望する場合は、早めに当該講座へ相談してください。

先進的医科学専攻（博士前期課程）協力講座一覧

コース名	講座名
放射線未来科学コース	放射線医学（放射線腫瘍学）
	放射線医学（放射線診断学）
分子疫学コース	総合医学教育センター
創薬・システム医科学コース	内科学第三（神経学）
	医薬品医療機器評価学
	薬理学

※上記の協力講座や医学専攻の講座における研究指導等を受けることも希望する場合は、事前に学務課入試担当へお問い合わせください。

先進的医科学専攻（博士前期課程）教育研究講座等の研究内容と指導内容

講座名・指導教員名等	研究内容・指導内容
重粒子線医学 根本 建 二 (兼) 岩 井 岳 夫 TEL : 023-628-5401 E-mail: iwai@med.id. yamagata-u.ac.jp	【研究内容】 重粒子線による最先端がん治療は、医学だけでなく理学や工学の知識を結集して発展させて行くことが不可欠です。本講座では、重粒子線がん治療の発展を目的として、以下のようなテーマで研究を進めます。 (1) 重粒子線がん治療に関する臨床研究 (2) 重粒子線がん治療の高精度化に関する医学物理研究 (3) 重粒子線がん治療装置の性能向上に関する研究 (4) 重粒子線がん治療の有効性に関する統計的研究 【指導内容】 本講座では、医学部のみならず理学部や工学部の学生にも門戸を開き、重粒子線治療において必要な広範な基礎知識の習得を目指します。その上で放射線腫瘍医や医学物理士などの資格取得をサポートし、それぞれの立場で重粒子線治療の発展に貢献できるよう指導します。研究面では、上記の研究テーマに関して、実験方法やシミュレーション手法の習得、学会発表、論文作成について指導します。
生化学・分子生物学 藤 井 順 逸 TEL : 023-628-5229 E-mail: jfujii@med.id. yamagata-u.ac.jp Home page: http://www.id.yamagata-u.ac.jp/Biochem II / b2.html	【研究内容】 (1) 酸化還元（レドックス）反応による生体応答の調節機構の解明 (2) 活性酸素による生体障害機構と老化促進機構に関する研究 (3) 酸化ストレスの関わる自己免疫疾患の発症機構に関する研究 【指導内容】 (1) Superoxide dismutase 1 (SOD1), Peroxiredoxin 4 (Prdx4), Aldehyde reductase (Akr1a) 遺伝子欠損マウスをはじめとする遺伝子改変マウスの表現型解析と、そうしたマウスを用いた病態モデルの作製ならびに解析。 (2) 酸化ストレスと小胞体ストレスの分子機構に関する生化学的ならびに細胞生物学的解析。 (3) タンパク質の酸化修飾をはじめとする翻訳後修飾の解析。
遺伝情報解析学 中 島 修 越 智 陽 城 TEL : 023-628-5901 E-mail: nakajima@med.id. yamagata-u.ac.jp	【研究内容】 (1) トランスジェニックマウスやゲノム編集マウス（遺伝子破壊マウス）の作製および表現型解析を通じた、ヘム生合成分解関連遺伝子（5-アミノレブリン酸合成酵素 ALAS, ヘムオキシゲナーゼ HO など）の生理機能の解析。特にヘムによる糖代謝制御機構の解明（中島） (2) ヘム生合成前駆体 5-アミノレブリン酸の薬理作用の探索とその作用メカニズムの解析（中島） (3) 時計遺伝子 Cry のヘム結合モチーフの生理機能解析および、Cry1 による糖代謝制御メカニズムの解明（中島） (4) 非コード DNA 領域に存在する転写調節領域の網羅的解析（越智） (5) 組織・器官の形成と再生における非コード DNA 領域の役割の解明（越智） 【指導内容】 マウス、アフリカツメガエルなどのモデル動物を利用した、分子生物学研究を遂行できるよう、遺伝子発現解析実験などの分子生物学の基礎実験手技や DNA 組換え実験手技を中心に、研究テーマに即して、実戦的な指導を行う。

講座名・指導教員名等	研究内容・指導内容
<p>公衆衛生学 山下 英俊 (兼) 川崎 良</p> <p>TEL : 023-628-5260 E-mail: ryok@med.id. yamagata-u.ac.jp</p>	<p>【研究内容】 公衆衛生学は、人々の健康を保持増進させるための科学であるとともに、実践活動である。つまり、公衆衛生学とは、疫学的手法を駆使して人々の健康を阻むあらゆる事象を対象にその関連要因を明らかにした上で、予防対策を樹立し、またその対策の評価を行うという一連の過程を包含している。本講座では、そのコンセプトに沿って、以下のような研究を行っている。</p> <p>(1) 生活習慣病の効果的な予防対策とその評価：高血圧，糖尿病，がん等の関する疫学調査，臨床研究を通じ，効果的な予防対策の確立を目指した研究を行っている。</p> <p>(2) 高齢者の保健，医療，福祉に関する研究：山形県内外の自治体の要請を受け，高齢者の健康状態，医療受療状況，介護福祉，認知症予防活動などの研究を行う。</p> <p>(3) 失明予防対策：主に成人の失明原因についての疫学調査，臨床研究，検診についての研究を行う。</p> <p>(4) 山形県コホート研究：山形大学医学部メディカルサイエンス推進研究所が行っている分子疫学コホート研究の計画，実施，また，種々の疫学研究を行う。</p> <p>【指導内容】 公衆衛生学の守備範囲は極めて広く，上記の眼目を達成するためには医学の分野にとどまらず，多くの分野の知恵を集結しなければならない。従って，将来公衆衛生学を志す医師はもとより，自分の専門としている分野を公衆衛生に生かしたいと考える多くの人々に門戸を開放したい。指導内容としては，公衆衛生学の基本的な方法である疫学に重点を置き，医学統計学の基本的習得を目指し，その上で，各自が関心を持つテーマについて個別に指導助言する。</p>
<p>医療政策学 村上 正 泰 伊藤 嘉 高</p> <p>TEL : 023-628-5931 E-mail: mmurakami@med. id.yamagata-u.ac.jp</p>	<p>【研究内容】 人口動態や疾病構造の変化，医療の技術進歩などにより，医療の在り方や社会的要請が変化している中，今後必要とされる政策上の対応や医療経営戦略について，特に下記のような諸課題を中心に，各医療機関や関係団体，行政等とも密接に連携しながら，医療経済・政策学の観点から研究している。</p> <p>(1) 医療費の経済分析 (2) 診療報酬・薬価制度に関する政策評価・医療経営影響分析 (3) 医療技術の経済評価 (4) 医療分野におけるイノベーションを推進するための産業政策 (5) 質の高い医療提供体制を構築するための医療資源の適正配置 (6) 地域包括ケアと地域医療連携システム (7) 持続可能な医療保険制度の在り方と財源論</p> <p>【指導内容】 医療経済・政策学に関心を有している医療従事者や病院経営企画担当者，行政実務担当者，製薬企業・医療機器メーカー等の職員等，医療に関わる幅広い分野の人々を対象として，医療政策に密接に関連している人文社会科学分野の知見も幅広く活かしながら，これまでの医療政策の変遷を歴史的に検証した上で，エビデンスに基づいた政策立案・経営戦略策定に向けた実証的な研究について指導する。</p>

講座名・指導教員名等	研究内容・指導内容
<p>創薬科学 白石 正 豊口 禎子 田中 敦</p> <p>TEL : 023-628-5827 E-mail: tshirais@med.id. yamagata-u.ac.jp</p>	<p>【研究内容】 医薬品の開発，適正使用に基づく以下の研究内容を行う。 (1) 医薬品の体内動態に関する研究 (2) 薬剤開発における臨床試験の評価に関する研究 (3) 医薬品と生体との相互作用に関する研究</p> <p>【指導内容】 がん，脳卒中，心筋梗塞，生活習慣病，認知症，感染症など有効で安全な薬剤のシーズを関連各所から得るとともに，薬剤開発の臨床試験，薬剤の体内動態，薬剤と生体との相互作用などのテーマに沿った指導を行う。</p>
<p>生命情報工学 中村 孝夫</p> <p>TEL : 023-628-5934 E-mail: task-n@yz. yamagata-u.ac.jp</p>	<p>【研究内容】 (1) 糖代謝の神経制御 (2) マイクロニューログラフィによる末梢交感神経機能計測とその応用 (3) 脂肪酸組成と細胞機能 (4) 心血管系の生体力学 (5) 組織工学</p> <p>【指導内容】 本講座ではほとんどの教育・研究を米沢キャンパス（工学部）内で行う。内容は工学を駆使した測定・解析系の構築とそれを用いた応用研究で，いわゆる生体工学・医工学と呼ばれる分野である。工学的立場からの医学・医療への approach 法を教示するとともに，その研究 process を通して，研究者として，また社会人として一般的に備えていなくてはならない資質も同時に獲得していけるよう指導する。</p>

